

絵が平面的になっていったのは、
ゴーギャンの影響だと考えた

1907	0	4月27日 父清作、母ルイの長男として、福島県会津坂下町に生まれる。二人の姉がいた。
1911	4	父の事業の失敗により、家族とともに北海道夕張に移住する。
1919	12	母ルイ没。一時姫路の寺に預けられる。
1927	20	小樽で看板店を開業。この頃から本格的に独学で絵を学びはじめる。
1932	25	白日会展に油彩画を出品、初入選する。
1933	26	知り合いの妹、文と結婚。上野広小路に転居する。
1936	29	安井曾太郎の版画に触発、木版画の制作をはじめ、日本版画協会展に出品、初入選する。初の個展を小樽で開催する。
1937	30	離郷後初めて故母をたずねて会津を訪れる。
1938	31	国画会展に落選。勉強不足を痛感し、ヌードロッカーを学び始める。
1939	32	長女 直子生まれる。
1940	33	美術誌でゴーギャン、ムンク、ルドンの作品を知り関心を寄せる。
1942	35	版画による初の個展を銀座・鳩居堂画廊で開催する。
1944	37	朝日新聞社に入社。「週刊朝日」の表紙やカット等を手掛ける。
1947	40	創刊された『国立博物館ニュース』の題字をデザインする。
1949	42	駐在軍人や外交官の夫人らが主催するサロン・ブランタン展に「ミルク」を出品、一等賞を受賞する。

何かを書いていると
心が落ちて着いた

1951	44	雑誌「タイム」に《凝視(猫)》等色刷りで作品が紹介され、大反響を呼ぶ。第1回サンパロロ・ビエンナーレに《凝視(花)》を出品、在サンパロロ日本人賞を受賞、戦後日本人初の国際展受賞となる。
1953	46	板橋区にアリエ付きの家を建てて転居、多くのアメリカ人が訪れる。
1956	49	アメリカ国務省・アジア文化財団の招きでアメリカ、メキシコを訪問、各地で実技指導や個展を開催する。リトグラフやコラグラフの技法を知る。
1957	50	アメリカで斎藤清版画展(巡回展)が開催され、出品作品をミシガン大学に寄贈する。ユーゴスラヴィア・グラフィックアート・ビエンナーレ(リュブリアナ国際版画ビエンナーレ)に出品、受賞する。
1959	52	アメリカ人実業家C.V.スターの招待で、2か月間パリに滞在する。
1967	60	雑誌「タイム」の表紙を手掛け、《佐藤栄作首相肖像》が2月10日に掲載される。インド文化省主催の斎藤清版画展のため、インドを訪れる。この頃、一時スランプに。
1970	63	韓国を訪れる。東京から鎌倉市に転居する。
1977	70	雑誌「タイム」の表紙を手掛け、《福田赳夫首相肖像》が3月28日に掲載される。チェコスロバキア国立美術館主催の斎藤清展開催のため、プラハを訪れる。
1981	74	秋の叙叙社で勲四等瑞宝章を受章する。
1987	80	鎌倉市から柳津町に転居する。
1995	88	平成7年度文化功労者に選出される。
1997	90	逝去。

こんな絵を描いて、
一体おれはどんな人なんだと思っただろ、
絵には描けなくなってしまうのだ。

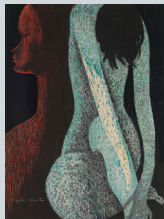
一年に一度か二度、通うのと
住むのでは全然違う

龍安寺の石庭の、あまりにもシンプルな、
究極の単純化ともいえる構図に
ビシッと目を叩かれたような感じがした。



石庭 1955年 紙・木版

転機となったのがヌード(G)。
お手依いさんの顔をスケッチしていたら、
若い頃のもやもやとした線が出てきて、
はっとしたんだ。



ヌード(G) 1966年 紙・木版

この絵は好きなんだ。
寂しげだろ、静まり返っている。



会津の冬(71)若松 1987年 紙・木版